
パロディ町

日海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パロディ町

【Zコード】

Z9904D

【作者名】

日海

【あらすじ】

とにかく、パロディ、パロディで攻めていきます。あなたはいくつわかるかな？

説明

この物語は、作者の娛樂を淡々と描く物です。
過度な期待はしないでください。

あと、部屋は明るくして、PCから3メートルは離れて読みやがつ
て下さい。

ちなみにどんな感じのかは、考えていないので。

目標は、1話5パロディ。

わからなくとも読める程度にやつていただきたいと思います。
ここまでやつたら駄目でしょと言つのがあれば、そのつど評価のほ
うから送つてください。

お願いします。

その場合は、対処を検討します。

あ、もうこれで終わりですよ。
(これじゃ概要の説明だけじゃんつて思った人は負けです)

最初は俺だつてひんに腐つてなかつたよ（前書き）

少々（？）読みにくいくと思ひますが、がんばつてください。

最初は俺だつてこんなに腐つてなかつたよ

サンタクロースはいつまで信じていたかなんていうことは、他愛もない世間話にもならないくらいどうでもいい話だが・・・
なんて書き出しで始めたら大体の人はどう思つんだろうか。
ネタのわかる人は、さまざま反応をするであろう。
わからない人からすれば何書いてんだ?という反応しかできないであろう。

しかし状況的には同じで、今坂道を自転車で登っている。

無論、今日は入学式というところだ。

まあ、もちろん最初から私も信じてはいない。

が、さてさて宇宙人や未来人や幽霊や妖怪や超能力者や悪の組織や
それらと戦うアニメ的特撮的漫画的ヒーローたちが、この世に存在
しないのだという事に気が付いたのは相当後になつてからだった。
いや、本当は気付いていたのだろう。

ただ気付きくなかったのだ。

俺は心のそこから宇宙人や未来人や幽霊や妖怪や超能力者や悪の組
織が目の前にふらりと出てきてくれることを望んでいたのだ。
ここまでほとんど完全なるパロディではなくパクリで書いてきた
のだが、この世界はちょっと違う。

宇宙人と幽霊は分からぬが、未来人と悪の組織とそれらと戦うア
ニメ的特撮的漫画的ヒーローたちはいなが、妖怪と超能力者はこ
の世界に存在しているのだ。

もちろん、超能力者は限られた世界でしか力を使えないとか、潜水
艦と精神をシンクロみたいなことして動かすわけでもない。
本当の超能力。

ものを浮かしたり、テレポーテーションしたりする人もいる。

妖怪は、鯉ヘルペスだとかそういうのではなく、普通に河童とかそ
んな感じなのだ。

しかし、その超能力者も妖怪も希少価値ではあるわけなのだが。そんなことはどうでもいいのだが……。

と、まあそんなこんなをしていると、学校に着く。

やはりこの学校は交通の便が悪いな。だから人が集まらないんだよ。まあ偏差値的に仕方が無いからこうして坂道を自転車で登つてきてるわけなのだが……。

そして俺は自転車を置いて教室に向かうことにする。

学校は五階建て。

教室棟、特別教室棟、部室棟に分かれている。築二十年を去年迎えたらしい。

学校の名前は……なんだつたかな？ 校門のところを見ておけばよかつた。

ま、別に学校の名前を覚えておく必要はほとんど無いんだけどな。教室に入つてみる。時間は……まだ入学式まで時間はある。

教室を見回してみるが、あまり喋っている人はいないようだ。

一度学校説明会で集まっているだけの教室なので、グループはできていないので。

おっと、もうすぐ入学式が始まってしまう。

こうして入学式に向かわなければならない。

まだ入学式だからこうなつているが、一ヶ月も経てば女子たちはグループになり恋愛の話をするようになり、男子はきっとかわいい女子のリストを作るやつが出てきたり、スポーツやテレビの話をしてるようになるのだろう。

実際投稿しているのが入学式等の直前なので言つておくが、緊張しても実際は結構簡単に物事は進む。

だから、緊張したって仕方ないのだ。

緊張するだけ無駄で、結局一ヶ月で大体の人はクラスに溶け込めるものなのだ。

そして今俺は入学式の最中で暇なので、無駄話でもしようと思つ。まずは自己紹介をしよう。

俺の名前は心。朝風心。あさかぜじん

ニックネームで呼ばれ続け、名前が出ないなんて事はない。

趣味は読書、料理、けんか、アニメなど色々。

特に愛読するのは半月、ハルヒ、ゼロ使などのラノベ。

とりあえず言つておくが、ヲタクではないぞ。

このアニメを見るという行為は中学のとき偏見を無くすという挑戦をしていたらはまつてしまつたのだ。

特に好きなのは、フルメタ、瀬戸花、黒猫が大好き。

特にフルメタの完成度は高いよな。

○を使って著作とかそういうの的に大丈夫にしなくていいのかな?

これから先もそういうことがあるだらうからな。

話は戻るが、フルメタ好きは下川〇くにも大好きといつことにも繋がる。

特にともろこしowaが、΄、なんていつてると泣きないから止めておこう。

だがこのネタの最後に言つておこう。フルメタMUSICはどうも完成度が高いぞ。

それでは学校に来るときの話を続けてみよう。

だがたぶん筆者がめんどくさいから本編にかかわってくるよくな登場はしないだろう。

ストーリーとかそっちのけでやりたいしね。

ネタが尽きたら使うかもしないけど。なんでもありだらうし。
・・・・・。

よく考えてみると何も考えずに執筆始めたから書くことないなあ。
まあいいか。

と、いうわけで話を続けるが、この世界には妖怪がいる。

この妖怪というのは、日本で言つ妖怪以外にも外国の幻獣や怪獣のことと言つ。

日本の妖怪で言つと、九尾の狐とか鬼とか。

怪獣には、竜とかクラーケンとかそういう感じ。

どっちにしろあえる確立は一生に一度あるかないか位なんだけどな。

それはそうとあなたには龍とドラゴンの違いが分かるだろうか。

大体の人は分かっているだろうが、羽があるかないかだ。

それ以外にも、龍とドラゴンにも色々な種類があるので、その中

にも火を吐けるものと吐けないものもあるのだ。

このように、外国とアジアでは違つたりするのだ。

このような知識は大体図書館でも手に入るが、暇なら遠野物語という本を読んでみてほしい。

遠野の村の伝説に触れられるからな。神隠しどか、そういう話に。

おつと、もう長いはずの校長の話も終わつたな。

結構短かつたな。

みんなが整列して教室に戻つていく。かつたるかつたなあ。

これから教室ではきつと自己紹介でもするのだろう。

自分の後ろに『ただの人間には興味はありません』とか言つてくれる人がいたらしいのになあ。

最初は俺だつてこんなに腐ってなかつたよ（後書き）

次話はもひつかひとつ読みやすくしてこままで、よろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9904d/>

パロディ町

2010年10月10日23時33分発行